

2022 年度データサイエンスプログラム 自己点検・評価報告書

神戸女学院大学
データサイエンスプログラム運営委員会

【中期目標・計画】

データサイエンスプログラムの整備と拡充

【2021 年度～2025 年度 中期目標と計画案】

2021 年度～2025 年度にかけての計画案		達成予定年度
計画案 1	文部科学省、数理・データサイエンス・A I 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）へ申請し、認定を取得する。	2023 年度
計画案 2	本プログラムの適切な運用と、その成果に基づく改善。	2025 年度
計画案 3	本プログラムの履修者数・履修率の向上のための取り組み。	2025 年度
計画案 4	数理・データサイエンス・A I 教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）を視野に入れた、本プログラムのさらなる拡充施策の検討。	2025 年度

【2022 年度の自己点検・評価】

視点 1	プログラムの履修・修得状況
	データサイエンスプログラムの事務担当部署である情報処理センターでプログラムの履修者を把握し、各学期においてプログラム履修者のプログラム科目の単位修得状況を把握している。必要に応じてデータサイエンスプログラム運営委員会等で報告を行い改善を行っている。
	活動評価: B
視点 2	学修成果
	本プログラムの科目で実施している課題等や大学全体で実施している授業評価アンケートを分析することで、学生がどの程度授業内容を理解しているかを把握する。またその情報をデータサイエンスプログラム運営委員会で共有し、本プログラムの評価・改善に活用している。
	活動評価: B

視点 3	学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度
	大学全体で実施している授業評価アンケートで、各科目における学生の内容の理解度を把握している。また、必修科目である「データサイエンス入門」においては、授業最終日にも独自に授業評価アンケートを実施し、授業全体を通じた理解度を把握している。
	活動評価: A
視点 4	学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度
	前述した授業評価アンケートでは、「授業で知的な刺激を受け、内容に関心をもてるようになりましたか?」「この授業で良かった点、有意義だった点、継続してほしい点を記入してください。」という項目の調査を行っており、その結果を講義受講の推奨に活用する。
	活動評価: A
視点 5	全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況
	プログラムは、大学案内や履修ガイダンス、全学必須科目である「IT 基礎演習」において履修案内を実施したが、本プログラムおよび必須科目である「データサイエンス入門」が令和 4 年度開設科目であり十分には履修者がいなかった。今後は従来の方法以外にも、ホームページなどで幅広くプログラムの内容および魅力を周知する予定である。
	活動評価: C
視点 6	教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価
	卒業生調査により、本プログラムを終了した卒業生の進路先や活躍状況を把握する計画である。 なお、本プログラムは令和 4 年度以降の入学生を対象としているため、プログラム修了者の最初の卒業は令和 8 年春になる。
	活動評価: C
視点 7	産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見
	全学的な自己点検・評価の枠組みの中で、大学以外の外部評価者からも本プログラムへの評価を受けるようになっている。
	活動評価: C

視点 8	数理・データサイエンス・AI を「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること
	Sc188(2) データサイエンス入門では、体験や演習を取り入れて、学ぶ楽しさを理解させるように努めている。また、前述した授業評価アンケートの「授業で知的な刺激を受け、内容に関心をもてるようになりましたか?」「この授業で良かった点、有意義だった点、継続してほしい点を記入してください。」という項目を活用し、より学ぶ楽しさや意義を感じられるような授業内容となるように努めている。
	活動評価: A
視点 9	内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること
	授業で使用している e-Learning システム上で質問や意見を書き込める掲示板を用意し、また、前述した授業評価アンケートの「この授業に対して改善して欲しい点、疑問に感じる点、要望を記入してください。」という項目を活用し、より分かりやすい授業となるように努めている。
	活動評価: A